


ラバー学生服と転校生

護謨学院シリーズ



TAIL LOVERS



今日からこの学校で
お世話になります
市倉ひなです
よろしくお願いします

はい、よろしくね
分からないことは担任の私か、
あとで紹介する学生に聞いてね

では早速・・・
本校の制服に着替えてもらおうか



向こうに更衣室が
あるから
着替えてきてね



ウチの制服は
特殊だから
はじめは苦労する
と思うけど

…はい。大変だ、
とは聞いてます



更衣室は
あの部屋ですよね？

そうそう、制服は
分かりやすいところに
置いてあるみたいだから


…って先生に言われたから
とりあえず更衣室来たけど…

そこにある制服…？

変なテカテカしてるのしか
置いてないじゃん…
詳しく聞いておけば
よかった…


それにしても
この部屋のクーラー
弱いなあ…

私は市倉ひな

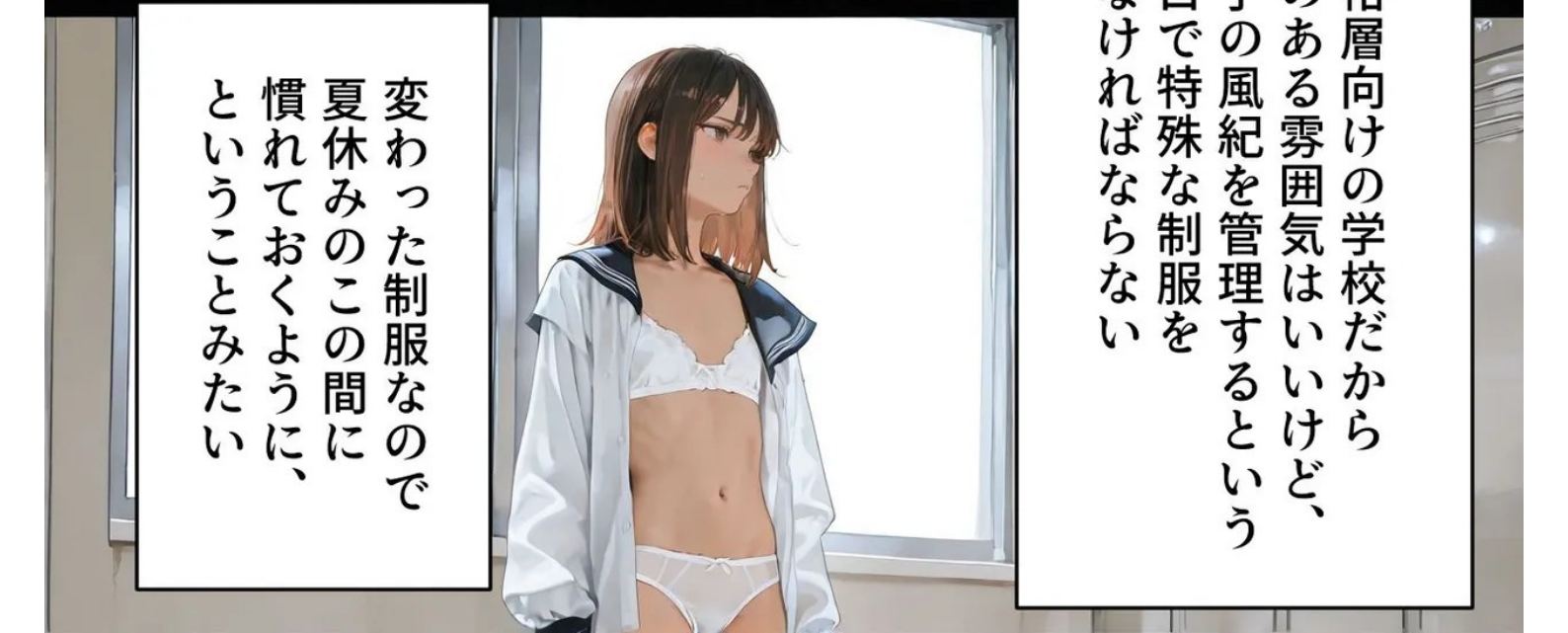


両親の都合で
この学院の近くに
引っ越してきた

それまで私は
別の私立に通っていた



1年の1学期が終了と同時に
前の学校に別れを告げ、
系列校の、『護謨学院』に
転校したというわけ



富裕層向けの学校だから
品のある雰囲気はいいけど、
女子の風紀を管理するという
名目で特殊な制服を
着なければならぬ

変わった制服なので
夏休みのこの間に
慣れておくように、
ということみたい



…そういうえばこの制服、
さっきすれ違った
女子生徒が着てたなあ



と、とりあえず
着てみようかな

やっぱりこれが
そうなのかな…？



うわっ…
なにこの質感…

話で聞いてたけど…
「ラバー制服」って
こんな変な感触なんだ



肌に当たる部分が…
変に張り付いて気持ち悪い…



とりあえず
上も袖を通したけど…

こんなのが
この学院の制服…？

ラバーのせいで
ちよつと暑い…



市倉さん

！

カキカキ



うわあ…

着心地
悪すぎ…

前の学校に
帰りたい…



…やっぱり

カキヤ



はいりますよ

キィ



イチから教えて
あげるわ

長袖だし…

…まだ着られてないのね
というか、その着方
間違ってるわよ



あ…あの、
あなたは…？



キム

私は指導係の、二条まい
あなたに、この学院での
過ごし方を教えるわ

まずは基本の
このラバー制服の着方から…

見た目通り、
この制服で過ごすのは…

大変よ…

クチ…

...

体中が汗とオイルで
ベタベタしてるし、
窮屈だし...



...はい.....

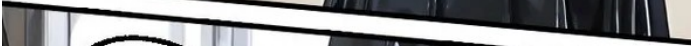
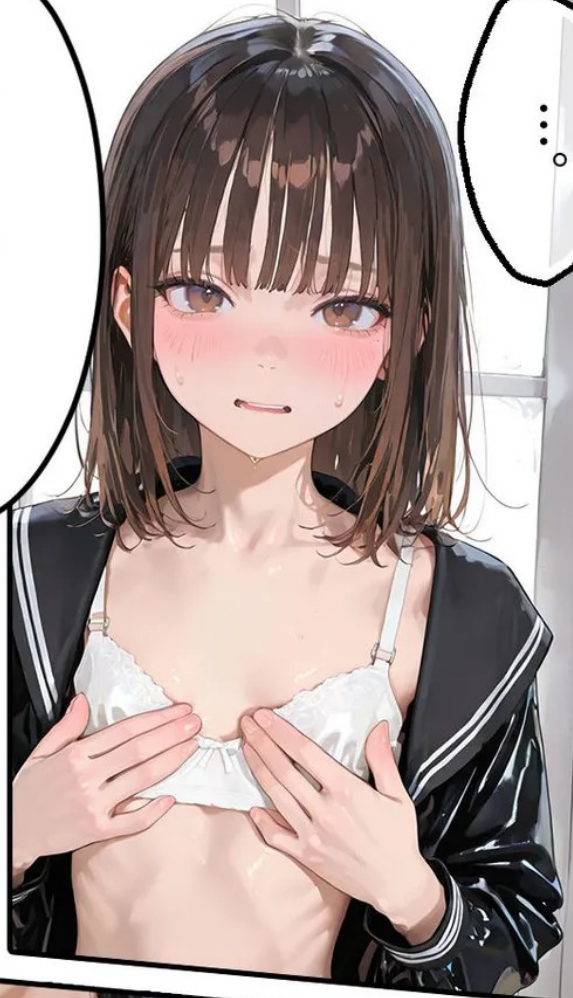


...でも安心して
私の言う通りにすれば
すぐに...慣れるわ。
一緒に頑張りましょう

...

：市倉さん
そんなに困った顔を
しなくても大丈夫よ

私もゆっくり慣れて
いったから...



一度馴染んでしまえば
きつと手放せなくなるわ

これはね、この学院で
過ごすための...
大切な『皮膚』なの

慣れるまで少し
時間はかかるけれど...

て、手放せなく
なる.....?





そう
それはただの服じゃないの

あなたの身体を護り、
そして新しい感覚を
与えてくれるものだから

……少なくとも
表向きは、ね

じゃあ、正しい
制服の着方を教えるわね

まい先輩いい匂い…

まずは裸になって
もらえる？

は、裸…!?

ドキ



だって：
まずはその制服を
着る前に

下着代わりの
ラバーズーツを着ないと



ほら、私も…



女子はみんな着てるのよ？



毎日、少なくとも
この学校にいるときは…



首から、指先、つま先まで…
全部ゴムに包まれてるの…



なんのために…

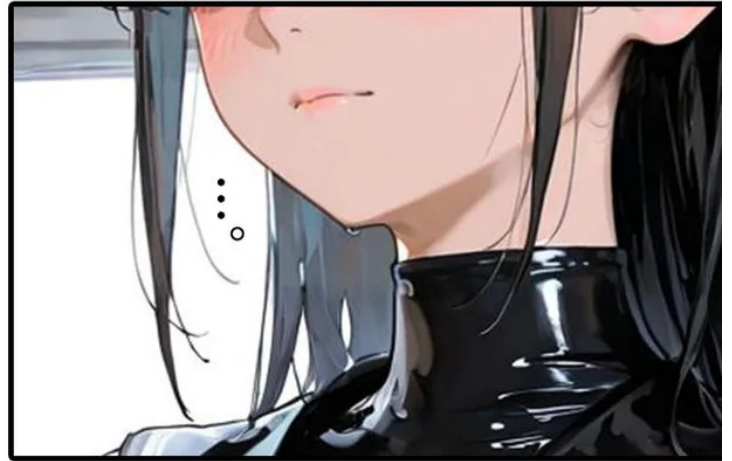


なかには自宅でも
着てる女子もいるのよ？



なんのために…?
これを着ても
気持ち悪いだけ
じゃないですか…

やっぱり
わたし、こんなの
着て過ごせないです…



ふふ
私もそうだった



…はあ…



こればかりは…
この格好で過ごさないと
分からないかな…？



ここの女子、みんな…
美しくないかしら？

でもほら…



それに

見た目だけじゃなくて
仕草も、その子が持っている
雰囲気も…

…たしかに
ここの女の子、
みんな可愛かった…




市倉さん、正解よ
…この制服には
そういったチカラがあるの



魔力に近いかも
しれないけれど…





もう市倉さんは
ウチの学生なのでしょう？
普通の人はここに入学、
ましてや転校なんて
そうそうできないはずよ？



そ…そこまで言うなら…

せつかく貴重な
体験ができるのだし、
まずは全身で味わってみたら？



…よかった。
市倉さんがそう言って
くれて安心したわ



…分かりました
…着ます。
ラバーの制服……



じゃあ、裸になってね♪

ドキ
いいのっ
これは私のお話



…?
…?



やっぱり…
恥ずかしいです…

スル…

そうね
このラバースーツが
自分で着られるようになったら
家から着用してくるといいわ

早くこのゴムの服に
慣れましょうね

じゃあ、ラバースーツに
脚を通してもらえる？

…はい



市倉さんの体型に
合わせてあるから
ちようどいいはずよ

すでにオイルが
塗られているから
するっと入るでしょう？

そのおかげで
ベタベタするけど

ヒキチ

ギュー

うわ…
きつい…ですね…

股間が強調
されちゃってる…

きゅう

市倉さんは体が柔らかいから
ラバー着るのが上手ね
そのまま全部着てもらえる？

このタイツみたいなのが…
下着代わり…



…おっぱいも
ゴムに包まれちゃった

ギョッ

背中中のジッパー、
上げてもらえませんか？

あ…
ジッパーが上げられない

まい先輩…

ジッ

いいわよ
ラバーを着たら
手を後ろに回すの
すっごく大変なものね

そ、そうなんですよ
肘も曲げにくくて…

でもこれでラバーの下着は
着られたわね
…とっても似合ってるわよ

あ、ありがとうございます…

よろこんでいいのかな…??

さあ、ラバースーツが
着られたわね

やっぱりこういう服装は
細身の本当の
女の子が着てこそよね

フウ
フウ


そ、そうなんですか？
それはともかく…
窮屈で息がちよっと
苦しいです…

ヒキキ

大丈夫よ
後でその閉塞感が
楽になる方法教えてあげるわ

つぎは半袖の
セーラー服ね

あ、はい
それなら簡単ですね

A woman with long brown hair is shown from the waist up, wearing a black, shiny latex outfit. She is standing in a locker room, with white lockers visible in the background. Her hands are on her hips, and she has a slightly pained or uncomfortable expression. The lighting is bright, highlighting the reflective surface of the latex.

：ラバースーツの上から
更にラバーの服を着ると
圧迫感が増すなあ：

それにラバーで肌の感覚が
かなり鈍ってるから
スカートを履いてる
心地がしない：

でも
なんとかか…
これで全部…



外界から遮断されてる感覚…
まい先輩はずっとこんな
着てるの…？



あの、いちおう全部
着れました…



あの…
やっぱり…

ポッ



全身が圧迫されて
息苦しい…それに暑い…
うう…脱ぎたくなってきた

ギョ
ギョ

…私…これ、
無理…かも…です

こんな窮屈で…
息苦しい格好…

今にでも脱ぎたい…

ギョ…

動きにくいし…
全身の肌が閉じ込められて…
まい先輩、私…

ふふ、よく
気持ちを言えたわね

その気持、よく分かるわ
逃げたしたいわよね
こんな窮屈な、まるで…
『牢獄』のようなゴムの膜…

私もこの制服が
イヤになることは
あるのよ？

全身に張り付いた膜が
突っ張るこの感じ…

市倉さんもそうよね？

でも大丈夫。
その『不快感』を乗り越える
方法がちゃんとあるのよ

苦痛は一切ない、
このスーツと一体になる
方法が…

今、あなたの心と身体は
このスーツを『異物』だって
拒絶してる

だからなじまず、
突っ張って、
苦しいの

だからね、
このスーツがあなたの
身体の一部だって
教えてあげなくちゃ

お、教えてあげる……？

そう…

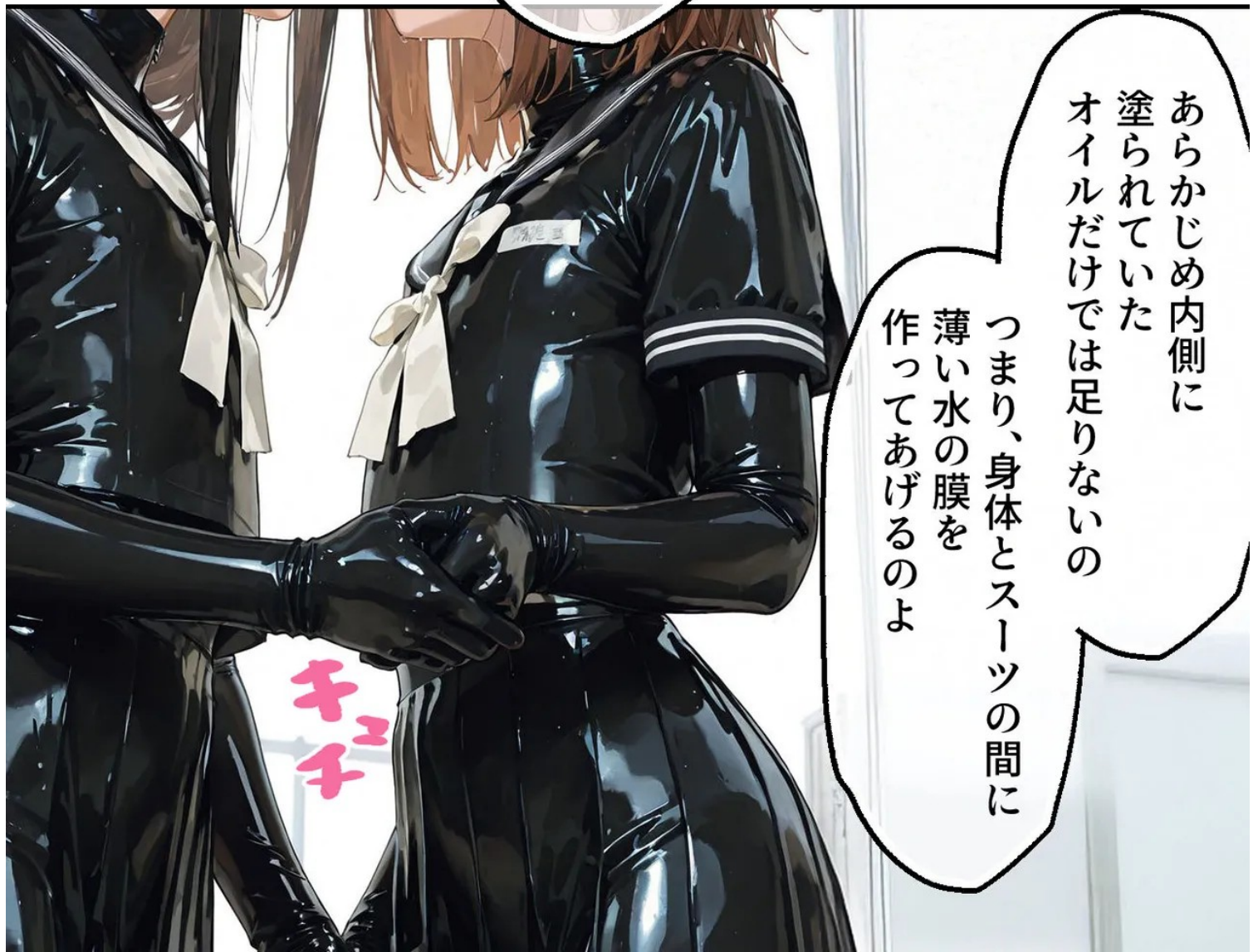
トク…



そのために
まずは身体を温めるの
身体が温まって、
少し汗をかくとね…

スーツが肌の上を
滑るようになって、
この突っ張り感が
和らぐのよ

キョキョ



あらかじめ内側に
塗られていた
オイルだけでは足りないの

つまり、身体とスーツの間に
薄い水の膜を
作ってあげるのよ

キョキョ

ひゃ...!?

ひゃ...!?

なに、
この手の動き...

でもね、市倉さん...

ドキ
ドキ
ドキ

ス
ス



ただ温めるだけじゃ、
足りないの…

この『不快感』を、
もつとずつと素敵な『快感』で
上書きしてあげることが
一番大事なのよ

か、快感……？

アニムニムニ

そう、快感。

人間は、嫌なことより
気持ちいいことを、
ずっと強く感じるように
できているでしょう？

だから、教えてあげる
このスーツが、どれだけ
気持ちいいもの
なのかを……ね

ほら、シャツを
脱いで…

ハハハ

キエ

せ、先輩…
なにを…

安心して？
私もこうやって
この服に慣れたの

ドキ
ドキ

今回だけでいいから
私に体を預けて…？

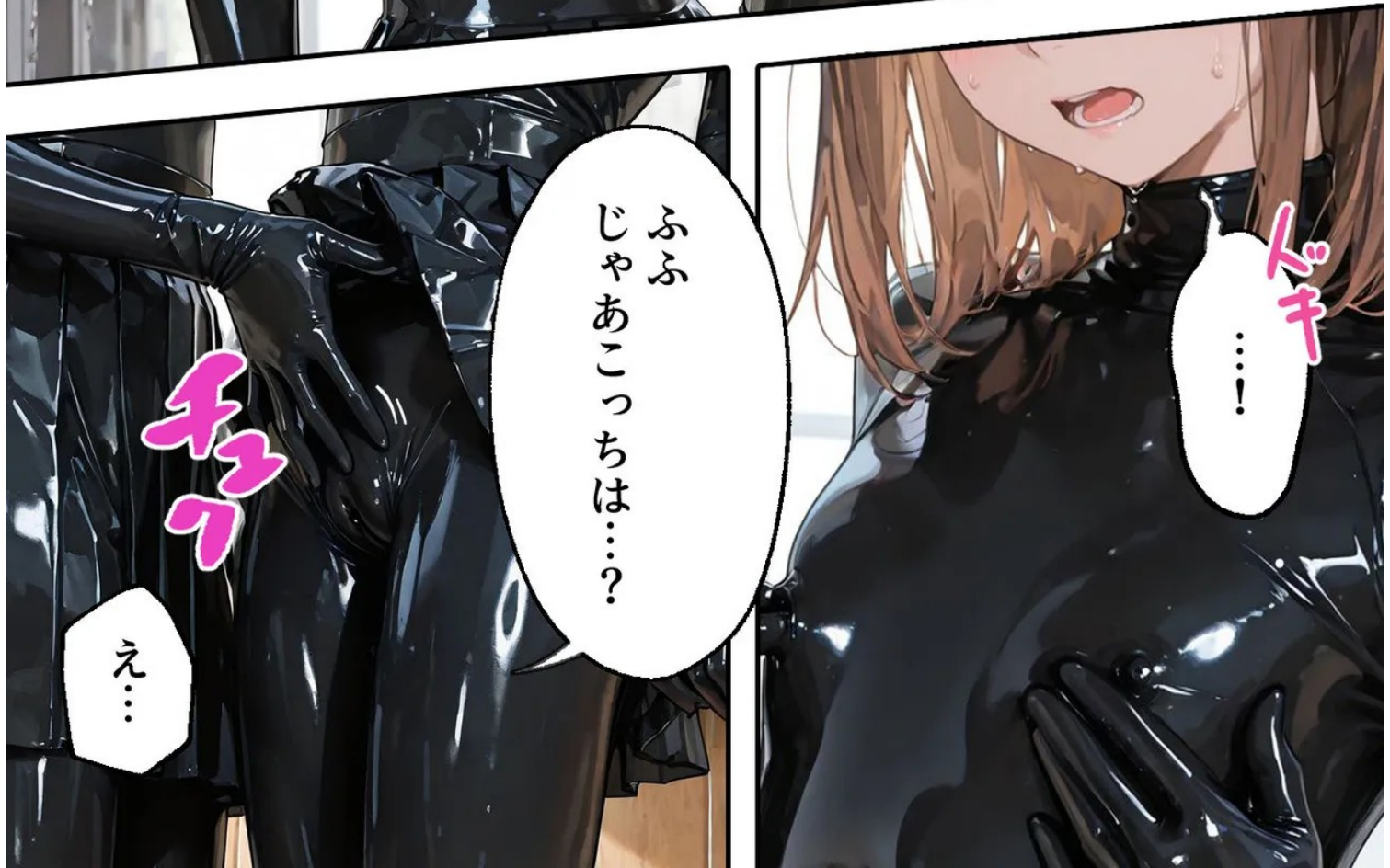
ただ、
気持ちよくなれる
だけだから



あ…っ

…あら？
乳首気持ちいいの？

もしかして、
こういうの経験ある？



ふふ
じゃあこっちは…？

…！

え…



んん…っ！
やめっ…！
せん…ぱい…！

…おねがい

ルチ…
クチ…



いやっ…！



こんなの…
レッスンじゃ…ない…!!

#ニ
ユ



…ごめんなさい
手荒だったわね
謝罪するわ

でも…

っ

これが本当の
レッスンのなの…

一番大事な、ね

ほら…私を見て…

フ
○○○

こうやって…
ラバー越しに、
繊細な先端を…
刺激すると…

体が温まって、
ラバーと一体に
なれるの…

この行為は…
はしたないかしら…？

…違うわ。
女として生きる私には、
必要なコトなの。

ねえ…
どんな顔してる？
今の私…？

コリッ

コリッ



キレイ…
だけど…

ただ綺麗なだけじゃなくて…
色っぽいって言うのかな…

…そうか
これが『女になる』って
ことなんだ



…市倉さん

黙っているとは
分からないわよ…？

…いえ
違うわね



え……っ!?



あなたの身体が
口ほどに物を言っているわ



なんで乳首、
こんなに硬いの？

んっ……う、
あ……ちが……
これは……っ!

身体は正直ね
市倉さんのかわいい胸が…
こんなに熱く…なってる

ポ
タ

いや……いやだ……！
なのに、どうして……

身体が…いうことを
きかないの……？

熱い……
身体の奥から…
何か……熱い……

それに…



…!
ギク



きづいてたのよ?

市倉さんの私を見る目…
すごくいやらしい…



…



ホンネは私と
同じではないの？



素直になっていいのよ...?

キム...

私もあなたと同じ...
ラバーをまとった
学生なの...



先輩...

トク?

ドキ

心臓の音が聞こえそうなくらい
ドキドキしてる…

ドキ

ドキ

恥ずかしい…
けど…

ドキ

ドキ

ここの…
ラバーの圧迫感が
和らぐなら…

ドキ

ちよつと…だけ…



…ええ。
…もちろん…



…お願いします
このラバーの不快感、
楽に…したいです…



私に全部まかせてね

市倉さんの熱を…
ラバーの指越しにでも
感じられる…

キュム

汗で…内側がすごく
蒸れてるのも…

ドキ
ドキ

もっと馴染ませて…
気持ちよくしてあげる…



その顔……

は
は
は

んっ

キュカカ

初めての快感に
理性が焼き切られていく……
その顔が見たかったの

もう……
わかるでしょう……？

……？



このラバースーツは

あなたを苦しめる
ものじゃない

キュ...



あなたに...
本当の快感を
与えてくれる...

最高の道具なのよ...

お月...



キゅ!

…レツスは
まだ終わってないもの

…いいえ
やめないわ…



も、もう…
やめ…

ははは



リゅ

あ……あつ……!
そ……は……!

本当の熱はね……
ここから生まれるのよ

んんんっ…!!

熱い……!!
指が触れてる場所から…
頭の芯が痺れる
みたいな熱が……!!

このスーツのせいで……
感覚が、おかしい……!!

体中に響いてくる……!!

クワッ

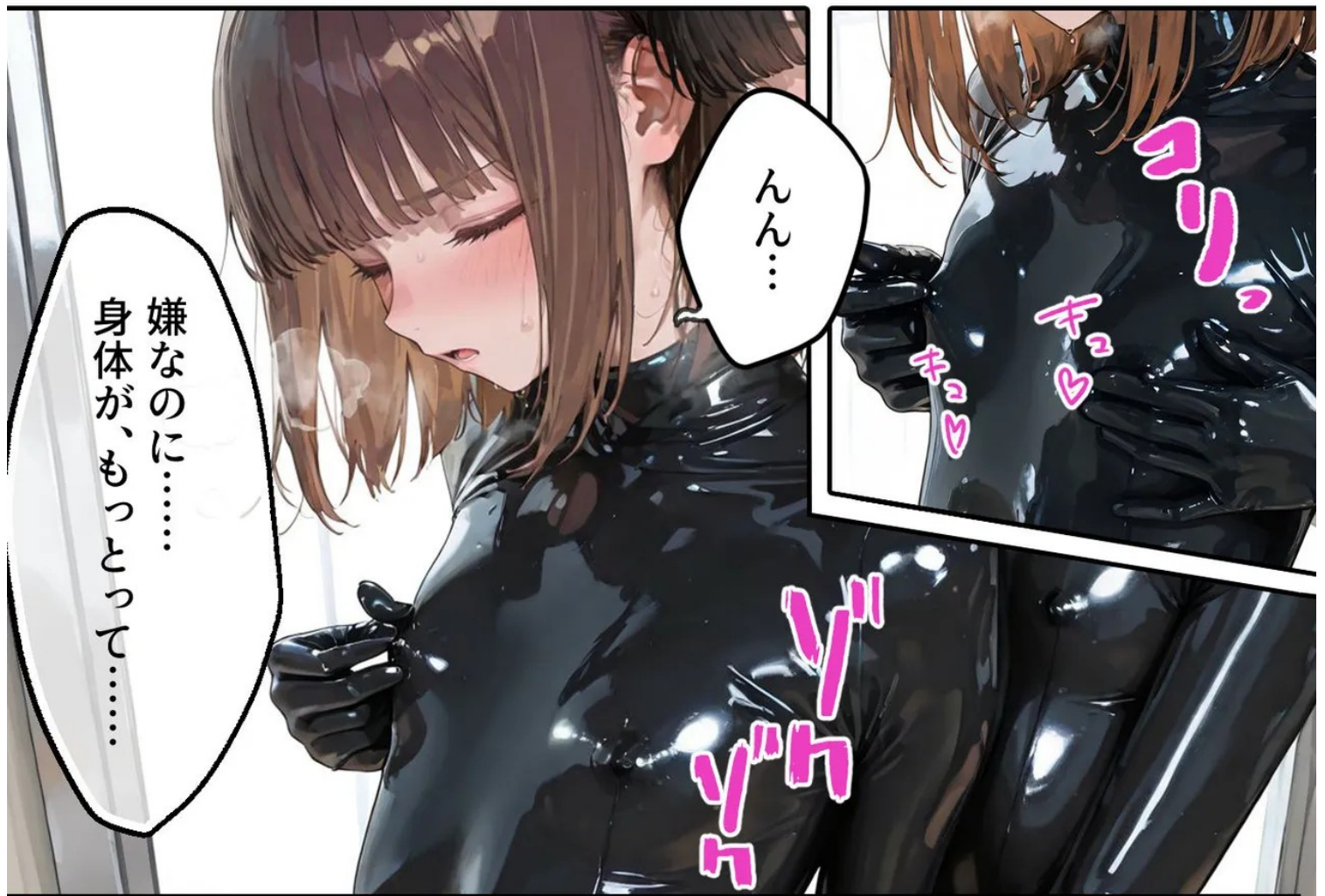
リキョッ
リキョッ



今、このスーツは
あなたの身体と一体になって
私の指の動きを
何倍にもして伝えているのよ

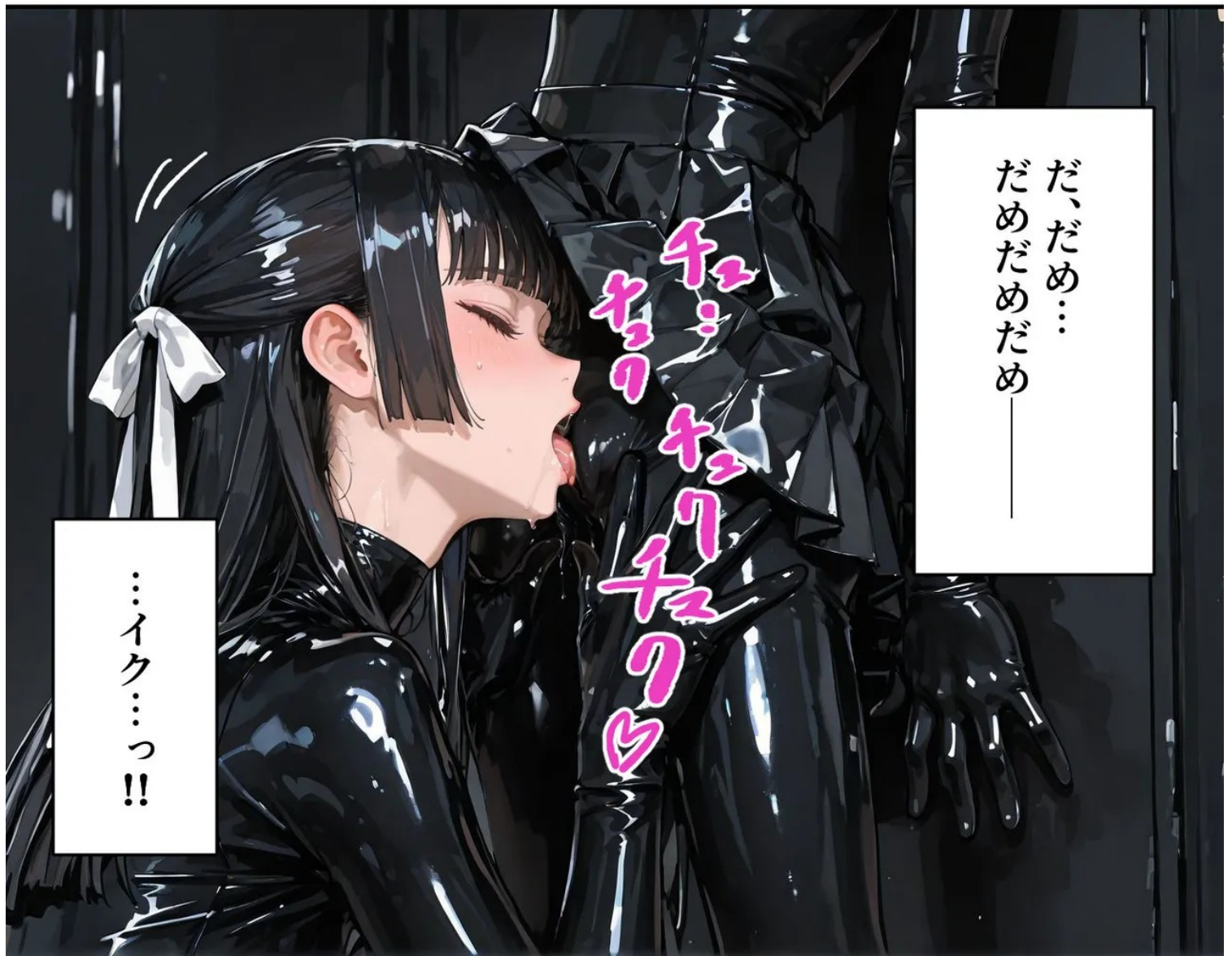


ほら：感じてみて：
汗で湿った肌と
スーツの滑らかな内側が
どれだけ気持ちいいか：













そう…
ウチの制服に少しは
慣れたかしら？

はい…先輩…

トクッ♡



それなら良かった…

ホッ

ようこそ…
護謨学院へ…

それと…



話し方も
お姉さんだし…

ええ!?

どう見ても
先輩ヅラして…



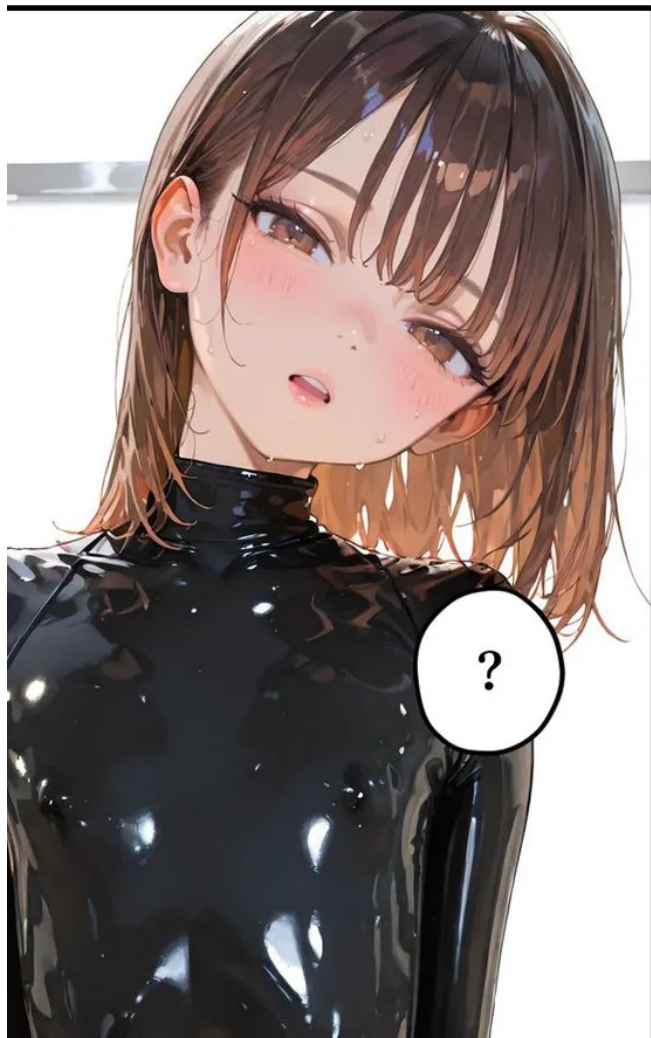
私は「先輩」じゃないわ…
あなたと同級生の1年よ?



はじめに言ってくだ…

言つてよ…

それは市倉さんが勝手に
「先輩」って勘違いして…





い：いいから！
とにかく無事、
護謨学院の一員に
なれたようで安心したわ



…うん



今日中にあなたに学校の
案内もしないと。
早く制服を着ていくわよ

じゃあ…よろしくね、
まいちゃん♪

ドキッ

な、急に
馴れ馴れしいわね…

まあまあ…
だって…
あんなコトした
仲…
先に行くわ

あっ待って…!

—こうして
私の護謨学院生活は
始まった

この制服で…
学生生活を
送るんだ…

もうベタベタで
気持ち悪くなってきた…

私…これ早朝から着てるのよ？

まいちゃんすごいね…
先が思いやられる…

いろんな女の子たちと
一緒に…

